

News Release

2019年9月26日

各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

ESG 投資の代表的指標 「DJSI Asia Pacific」構成銘柄に 2年連続で選定されました

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社（本社:東京都港区 代表取締役社長:カリン ドラガン）は、世界の ESG(環境・社会・ガバナンス)投資の代表的指標である「Dow Jones Sustainability Indices（以下、DJSI）」のアジア・太平洋地域版である「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に2年連続で選定されました。今年度は同地域における主要企業約600社から、当社を含む上位148社（うち日本企業76社）が選定されました。

DJSIは、アメリカのS&P Dow Jones Indices社、およびスイスの投資顧問会社RobecoSAM社が共同開発した株式指標で、世界の大手企業3,500社以上を対象に、経済・環境・社会の3つの側面から綿密な調査を実施し、持続可能性（サステナビリティ）に優れた企業を選定しています。その評価は、ESG投資の世界的指標として、重要な投資先を選ぶ際の基準となっています。

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社は、「Environmental（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（ガバナンス）」分野における取り組みと、社会との共創価値（CSV[※]）の実現を目指したコミットメント「THE ROUTE to Share Value（ザ・ルート・トゥ・シェアード・バリュー）」を8月に発表した5年間の中期計画「THE ROUTE to 2024」に明示しています。当社グループは引き続き、共創価値（CSV）を最も重要な経営課題の一つと位置づけ、社会的責任に関する国際規格であるISO26000に則ったCSRをさらに進化させ、「健康」「環境」「コミュニティ」という三つの柱にそって、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ CSV: Creating Shared Value

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM 

【参考】DJSI ウェブサイト

<http://www.sustainability-indices.com/>

【参考】「THE ROUTE to Shared Value」の概要

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社は、ESG 分野における取り組みと社会との共創価値（CSV）の実現を目指したコミットメントとして「THE ROUTE to Shared Value」を2019年8月7日に発表しました。

これは、2019年7月12日に日本コカ・コーラ社より発表された新しい環境目標「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」に対する強いコミットメントを含んでおり、日本国内の優れた資源循環スキームとの連携をさらに深め、世界におけるプラスチック資源循環利用のモデルケースとなることを目指しています。

